

2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月10日

上場会社名 ローランド ディー.ジー.株式会社
 コード番号 6789 URL www.rolanddg.com

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 田部 耕平

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 小川 和宏

TEL 053-484-1400

四半期報告書提出予定日 2020年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	24,962	16.5	342		442		789	
2019年12月期第3四半期	29,885	4.2	2,316	18.6	2,189	19.1	1,648	10.1

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 1,054百万円 (%) 2019年12月期第3四半期 1,312百万円 (21.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	63.38	
2019年12月期第3四半期	131.63	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	34,843	23,623	67.8	1,901.24
2019年12月期	38,446	25,047	65.1	2,005.60

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 23,623百万円 2019年12月期 25,047百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		25.00		25.00	50.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2020年12月期の期末配当につきましては未定であります。

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,300	15.9	300	89.3	170	93.6	360		28.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期3Q	12,656,311 株	2019年12月期	12,656,311 株
期末自己株式数	2020年12月期3Q	230,957 株	2019年12月期	167,557 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期3Q	12,459,443 株	2019年12月期3Q	12,524,605 株

(注) 期末自己株式数には、役員向け株式給付信託及び株式給付型ESOP信託が保有する当社株式(2020年12月期第3四半期230,700株、2019年12月期167,300株)が含まれております。また、期中平均株式数の計算において控除する自己株式数には、同信託が保有する当社株式(2020年12月期第3四半期196,611株、2019年12月期第3四半期131,511株)が含まれております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料5ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年9月30日)における世界経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により極めて厳しい状況となりましたが、段階的に経済活動の再開が進み、持ち直しの動きが見られました。しかしながら新型コロナウイルスの収束時期は依然として不透明で、予断を許さない状況が続いております。

当社グループでは、当期を最終年度とする中期経営計画に取り組んでおります。新たな成長ステージに向けた転換期として、「成長分野の拡大」、「サイン市場向けプリンターの下げ止め」、「収益性の改善」を重点課題に設定し、事業ポートフォリオの転換と事業運営力の強化に注力しております。

当第3四半期は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い事業活動が制限されたため、代替方法としてSNSやウェブサイト、ウェビナーを通じた情報発信や、AR(拡張現実)技術を用いたリモートによるサービスサポート等、オンラインの活用に取り組みました。各国でロックダウンや緊急事態宣言解除後は、オンラインを活用したセールスプロモーション、サービスサポートの強化に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、サイン市場向けプリンター及びインク、並びにデンタル加工機の販売が減少したことに加えて、為替の円高によるマイナス影響があったことで、売上高は前年同期比16.5%減の249億62百万円となりました。売上原価率は、売上高の減少と生産調整による影響で前年同期から7.7ポイント上昇しました。販売費及び一般管理費は、経費抑制により人件費や広告宣伝費が減少し前年同期を下回りましたが、売上高に対する比率は前年同期から1.4ポイント上昇しました。これにより、営業損失は3億42百万円、経常損失は4億42百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は7億89百万円となりました。

なお、当第3四半期連結累計期間における主要通貨の為替レート(2020年1月～2020年9月の平均レート)は、107.61円/米ドル(前年同期109.16円)、120.95円/ユーロ(前年同期122.69円)でした。

当社及び連結子会社の事業は、コンピュータ周辺機器の製造販売であり、区別すべき事業セグメントが存在しないため、単一セグメントとなっております。なお、品目別の売上高は、以下の通りであります。

品目別売上高

品目	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額 (百万円)	構成比増減 (%)	前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)			
プリンター	9,545	31.9	7,209	28.9	△2,335	△3.0	75.5
プロッタ	820	2.8	736	2.9	△84	0.1	89.8
工作機器	4,027	13.5	3,183	12.7	△843	△0.8	79.0
サプライ	10,016	33.5	8,876	35.6	△1,139	2.1	88.6
その他	5,476	18.3	4,956	19.9	△520	1.6	90.5
合計	29,885	100.0	24,962	100.0	△4,922	—	83.5

[プリンター]

新型コロナウイルスの影響を受け対面による営業活動に制限が掛かったものの、オンラインを活用し、販売代理店向けの新製品勉強会やサービストレーニングの実施のほか、ユーザー向けの情報発信等、対面以外のコミュニケーションを継続して行うことで、顧客基盤の維持に努めました。3月には、ノベルティ等のオリジナルグッズ製作を行う小規模工場向けに、多様な材料にオンデマンドで付加価値の高い特殊印刷を実現する小型UVプリンターVersaUV(バーサユーブイ)「LEF2-300D」を発表しました。6月には、サイン市場向けプリンターの主力製品群であるTrueVIS(トゥルービズ)シリーズのラインナップ拡充としてプリント専用モデル「VF2-640」と、表現力向上を目指してシリーズ専用インクの新色「グリーンインク」を発売しました。

サイン市場では、コロナ禍において、各種イベントが中止又は延期となり、屋内・屋外広告の出力需要が急速に減退した反面、新型コロナウイルスの感染対策ステッカーやソーシャルディスタンスの確保を促すフロアサイン等の製作の需要が拡大しました。この新たな出力需要は、当社のプリント&カット機能とオンデマンド印刷の強みが活きる用途として、販売の下支えとなりました。経済活動の再開により出力需要も回復に向かっております。リテイル市場

では、経済活動の再開以降もノベルティやギフトの需要回復の動きは鈍く、リテイル市場向けUVプリンターの販売が前年同期と比べ大きく減少しております。

これらの結果、プリンターの売上高は72億9百万円（前年同期比75.5%）となりました。

[プロッタ]

低価格でオフィスや店舗で簡単にカッティングステッカーの作成が可能なカッティングマシンSTIKA（ステカ）シリーズの販売が増加しましたが、サイン市場向けの大型カッティングマシンの販売が減少し、プロッタの売上高は7億36百万円（前年同期比89.8%）となりました。

[工作機器]

3D事業を担う100%子会社のDGSHAPE株式会社は、製造業や彫刻業、教育機関等の3Dものづくり市場を基盤に、成長分野のデンタル市場ではグローバルNo.1メーカーを目指して販売地域展開とシェア拡大に取り組んでおります。新型コロナウイルスの影響を受け対面による営業活動に制限が掛かったものの、オンラインを活用し、販売代理店向けの新製品勉強会やサービストレーニングの実施のほか、ユーザー向けの情報発信等、対面以外のコミュニケーションを継続して行うことで、顧客基盤の維持に努めました。3Dものづくり市場では、顧客の設備投資需要が減退したことにより、3次元切削加工機や彫刻機の販売が減少しました。デンタル市場では、コロナ禍において歯科クリニックの営業が制限された影響で販売が大きく減少しました。ロックダウンや緊急事態宣言の解除後、感染拡大が続く地域において、感染防止のため治療人数を制限する等の対処により一部のクリニックは低稼働の状態ではあるものの、営業再開により需要も回復しつつあります。

これらの結果、工作機器の売上高は31億83百万円（前年同期比79.0%）となりました。

[サプライ]

新型コロナウイルスの影響によりイベントが中止又は延期になる等、顧客の設備稼働率が低下してインクの販売が低迷しました。経済活動の再開に伴い顧客の設備稼働率が回復し、インクの販売も回復に向かっておりますが、前年同期を下回りました。

これらの結果、サプライの売上高は88億76百万円（前年同期比88.6%）となりました。

[その他]

リモートによるサービスサポート等、顧客サポートの充実により保守・メンテナンスの販売が増加しましたが、新型コロナウイルスの影響による製品の稼働率の低下に伴いサービスパーツの販売が減少しました。

これらの結果、その他の売上高は49億56百万円（前年同期比90.5%）となりました。

地域別の売上高は、以下の通りであります。

地域別売上高

地域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減額 (百万円)	構成比増減 (%)	前年同期比 (%)
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)			
日本	3,610	12.1	3,058	12.2	△552	0.1	84.7
北米	8,422	28.2	7,830	31.4	△591	3.2	93.0
欧州	11,102	37.2	9,100	36.5	△2,001	△0.7	82.0
アジア	2,402	8.0	1,654	6.6	△748	△1.4	68.9
その他	4,347	14.5	3,319	13.3	△1,028	△1.2	76.3
合計	29,885	100.0	24,962	100.0	△4,922	—	83.5

[日本]

プリンターでは、主にサイン市場向けとリテイル市場向けプリンターの販売が減少しました。また、新型コロナウイルスの影響により各種イベントが中止となり、出力需要が急速に減退したことで、インクを中心とするサプライの売上が減少しました。工作機器では、設備投資の減退により3Dものづくり市場とデンタル市場の販売が低調に推移し、前年同期に比べ減少しました。

これらの結果、日本の売上高は30億58百万円（前年同期比84.7%）となりました。

[北米]

工作機器では、3Dものづくり市場において3次元切削加工機の販売が低迷しました。デンタル市場においては、新型コロナウイルスの感染拡大で歯科クリニックの営業が制限された第2四半期会計期間（4月～6月）の販売が前年同期から大きく減少しました。しかしながら、2月のデンタル業界の展示会「LMT Chicago」への出展や買い替えキャンペーンをはじめとする積極的なセールスプロモーションを展開したことに加え、経済活動の再開以降もオンラインを活用した非対面の営業活動へリソースを集中した結果、当第3四半期は、デンタル加工機の販売が前年同期を上回りました。プリンターでは、サイン市場向けプリンターの主力機種であるTrueVISシリーズの販売が前年同期並みに推移しました。また、コロナ禍においてインハウスやスモールビジネスで需要が高まり、オンデマンドでオリジナルTシャツやユニフォーム製作、小ロットのステッカー製作が可能なプリント&カット機能を搭載した卓上型インクジェットプリンター「BN-20」の販売が大きく増加しました。しかしながら、サイン市場全体では顧客の出力需要が減退したため、インクの販売が減少しました。

これらの活動の結果、北米の売上高は78億30百万円（前年同期比93.0%）となりました。

[欧州]

新型コロナウイルスの感染拡大により停滞していた経済活動が再開し、設備稼働が回復しつつあります。しかしながら、第2四半期会計期間（4～6月）における、新型コロナウイルスの影響が顕著で、売上構成比が大きいイタリアやスペインでの販売が低迷したことで、前年同期と比べ減少しました。プリンターでは、サイン市場向けプリンター及び低溶剤インクの販売が減少しました。工作機器では、設備投資意欲の減退により、3Dものづくり市場及びデンタル市場の販売が低迷しました。

これらの結果、欧州の売上高は91億円（前年同期比82.0%）となりました。

[アジア]

新型コロナウイルスの感染拡大により、2月上旬から中国を中心に、韓国、台湾、ASEAN地域の周辺地域においては大きな影響を受け、売上が減少しました。中国では、主にサイン市場向けプリンターとサービスパーツの販売が減少しました。新型コロナウイルスの影響により景気低迷が続く韓国では、サイン市場向けプリンターとデンタル加工機の販売が減少しました。ASEAN地域では、主にサービスパーツの販売が減少しました。

これらの結果、アジアの売上高は16億54百万円（前年同期比68.9%）となりました。

[その他]

オーストラリアでは、デンタル加工機とサービスパーツの販売が前年同期並みとなりましたが、サイン市場向けプリンターの販売が大きく減少しました。新型コロナウイルスの感染拡大が続くブラジルを含む中南米では、経済活動の停滞から出力需要が低迷しており、プリンターとサプライの販売が減少しました。アフリカ地域では、サイン市場向けプリンターの販売が減少しました。

これらの結果、その他地域の売上高は33億19百万円（前年同期比76.3%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

〔資産の部〕

当第3四半期末の総資産は、前連結会計年度末と比べ36億2百万円減少し、348億43百万円(前連結会計年度末比90.6%)となりました。流動資産では、現金及び預金が6億15百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が8億70百万円、棚卸資産が21億79百万円それぞれ減少いたしました。固定資産では、使用権資産が1億38百万円、繰延税金資産が1億90百万円それぞれ減少したことに加え、償却等により建物及び構築物が1億29百万円、ソフトウェアが1億38百万円それぞれ減少いたしました。

〔負債の部〕

当第3四半期末の負債は、21億78百万円減少し、112億20百万円(前連結会計年度末比83.7%)となりました。流動負債では、支払手形及び買掛金が3億18百万円、未払法人税等が2億55百万円、未払金等のその他が3億95百万円それぞれ減少いたしました。固定負債では、長期借入金が10億80百万円減少いたしました。

〔純資産の部〕

当第3四半期末の純資産は、14億23百万円減少し、236億23百万円(前連結会計年度末比94.3%)となりました。前連結会計年度末に対し、当期の業績等により利益剰余金が11億6百万円、円高の影響等により為替換算調整勘定が2億94百万円それぞれ減少いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月期の通期連結業績予想につきましては、2020年8月7日に公表しました業績予想の見直しを行いました。詳細につきましては、2020年11月10日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,215,141	11,830,498
受取手形及び売掛金	4,947,348	4,076,836
商品及び製品	6,990,972	4,964,869
仕掛品	106,323	43,645
原材料及び貯蔵品	2,556,894	2,466,104
その他	1,863,482	1,407,203
貸倒引当金	△74,349	△77,993
流動資産合計	27,605,812	24,711,164
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,166,986	7,178,916
減価償却累計額	△4,663,264	△4,805,019
建物及び構築物 (純額)	2,503,721	2,373,896
機械装置及び運搬具	939,962	922,540
減価償却累計額	△679,033	△668,156
機械装置及び運搬具 (純額)	260,928	254,383
工具、器具及び備品	3,714,895	3,840,102
減価償却累計額	△3,004,073	△3,140,293
工具、器具及び備品 (純額)	710,822	699,808
土地	3,146,062	3,116,444
使用権資産	800,543	662,262
建設仮勘定	18,150	21,521
有形固定資産合計	7,440,228	7,128,317
無形固定資産		
のれん	189,176	134,141
ソフトウェア	757,334	618,725
電話加入権	7,938	7,928
無形固定資産合計	954,449	760,795
投資その他の資産		
投資有価証券	19,265	3,776
繰延税金資産	1,631,750	1,441,193
その他	794,952	798,432
投資その他の資産合計	2,445,968	2,243,401
固定資産合計	10,840,646	10,132,515
資産合計	38,446,459	34,843,680

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,014,844	1,696,371
1年内返済予定の長期借入金	1,440,000	1,440,000
リース債務	318,829	295,119
未払法人税等	385,443	130,066
賞与引当金	605,405	727,732
役員賞与引当金	44,000	—
製品保証引当金	490,372	463,514
その他	3,725,075	3,329,581
流動負債合計	9,023,971	8,082,386
固定負債		
長期借入金	1,440,000	360,000
リース債務	488,906	399,890
従業員株式給付引当金	153,264	138,246
役員株式給付引当金	180,377	163,198
厚生年金基金解散損失引当金	4,307	—
退職給付に係る負債	827,991	807,853
長期末払金	43,512	42,011
その他	1,236,536	1,226,463
固定負債合計	4,374,897	3,137,663
負債合計	13,398,868	11,220,050
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,668,700	3,668,700
資本剰余金	3,700,608	3,700,608
利益剰余金	19,197,758	18,091,645
自己株式	△593,773	△646,861
株主資本合計	25,973,293	24,814,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,983	△269
為替換算調整勘定	△705,787	△999,795
退職給付に係る調整累計額	△218,039	△190,504
その他の包括利益累計額合計	△925,810	△1,190,569
非支配株主持分	108	106
純資産合計	25,047,590	23,623,630
負債純資産合計	38,446,459	34,843,680

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月 1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月 1日 至 2020年9月30日)
売上高	29,885,414	24,962,767
売上原価	16,730,792	15,894,408
売上総利益	13,154,621	9,068,359
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	798,243	589,815
広告宣伝費及び販売促進費	825,621	437,412
貸倒引当金繰入額	6,849	8,638
製品保証引当金繰入額	54,740	16,265
給料及び賞与	5,035,205	4,836,783
賞与引当金繰入額	494,570	438,355
役員賞与引当金繰入額	42,750	—
従業員株式給付引当金繰入額	28,868	—
役員株式給付引当金繰入額	28,278	—
退職給付費用	223,275	196,786
旅費及び交通費	424,017	153,244
減価償却費	685,017	627,002
支払手数料	859,943	863,526
その他	1,330,901	1,243,039
販売費及び一般管理費合計	10,838,283	9,410,870
営業利益又は営業損失(△)	2,316,338	△342,511
営業外収益		
受取利息	12,696	7,232
受取配当金	337	12,803
金銭の信託評価益	54,761	6,550
補助金収入	4,213	90,425
その他	50,928	67,024
営業外収益合計	122,937	184,035
営業外費用		
支払利息	32,900	19,385
売上割引	93,490	60,167
為替差損	120,788	185,378
その他	2,709	19,345
営業外費用合計	249,889	284,276
経常利益又は経常損失(△)	2,189,386	△442,752

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月 1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月 1日 至 2020年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	9,940	12,341
特別利益合計	9,940	12,341
特別損失		
固定資産除売却損	15,894	8,503
投資有価証券売却損	—	5,571
特別損失合計	15,894	14,075
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,183,432	△444,486
法人税、住民税及び事業税	746,711	179,468
法人税等調整額	△211,934	165,745
法人税等合計	534,777	345,213
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,648,654	△789,699
非支配株主に帰属する四半期純利益	11	12
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,648,643	△789,711

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月 1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月 1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,648,654	△789,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△897	1,713
為替換算調整勘定	△379,355	△294,020
退職給付に係る調整額	43,863	27,534
その他の包括利益合計	△336,390	△264,772
四半期包括利益	1,312,264	△1,054,471
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,312,248	△1,054,470
非支配株主に係る四半期包括利益	16	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。